

市民協働でつくる安心・安全のまち

次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまちづくり



かけがえのない「今」を生き、八幡市の将来を担う子どもたちの健やかな成長は、家庭はもちろんのこと地域全体の願いです。様々な人が見守り、子どもたちの健やかな成長が、市民の皆様喜びとなるよう、京都府で初めての認定こども園の開設、病児保育の実施や京都府内学力No.1を目指した学力向上への取組など、子育て、教育環境の整備に努めてまいりました。

平成27年度では、子育て支援や教育環境をさらに充実させてまいります。

また、文化、芸術、スポーツなどの活動を通じ、人と人との交流を育み、市内の豊富な歴史・文化遺産を活かし、市民が誇りに見えるまちづくりを進めてまいります。



- 子ども・子育て支援総合推進事業 (継続) 580万円
- 早苗幼稚園認定こども園化施設整備費助成 (新規) 2億8,300万円
- みなし専業主婦(夫)制度創設(保育認定に係る保育料減免) (新規)
- 第3子以降の幼・保・こども園保育料無料化 (新規)
- 八幡市・八幡浜市中学生交流事業 (継続) 65万円
- いじめ防止対策委員会設置 (新規) 50万円
- 中学校給食施設整備事業 (新規) 2,950万円
- 国庫補助史跡保存整備事業(八角堂) (継続) 8,290万円
- 松花堂庭園美術館外構改修 (新規) 3,700万円



計画の実現に向けた取組や体制の強化

各種施策の基礎となります第4次八幡市総合計画後期基本計画では、平成28年度に最終年度を迎えます。計画に示しております成果指標の達成、めざす姿の実現に向け、総合計画検討懇談会でいただいた意見を踏まえ、定期的に課題協議を実施し、適切に進めてまいります。

- 職員研修経費(拡充)
- 社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修(継続)

だれもが明るく元気に暮らせるまちづくり

市民の皆様が地域で元気に暮らしていただくには、市民の皆様一人ひとりが各自のライフスタイルにあった健康づくりや生活習慣病予防の取組を実践していただくことが大切です。これまで、人間ドック、脳ドックへの助成や健康づくりを実践していただく仕組みづくりに取り組んでまいりました。

平成27年度では、幅広い世代で取り組めるラジオ体操の普及や月1回の「ウォーキングの日」の制定など運動習慣のきっかけづくりとその定着に向けた取組を行うこととしております。また、人間ドック、脳ドック事業を拡充することとしております。

- 生活困窮者自立支援事業(新規) 2,400万円
- 国民健康保険料激変緩和措置(臨時特例繰出金)(継続) 6,000万円
- 人間ドック・脳ドック助成(拡充) 4,520万円
- 子育て支援医療給付費助成(拡充) 2億3,580万円
- 健康マイレージ事業(継続) 300万円
- 健康フェスタ開催(継続) 210万円
- ウォーキング推進事業(新規) 50万円
- ラジオ体操普及啓発事業(新規) 10万円



昨年、「格差」「資本の収益率」「経済成長率」「相続」などをキーワードとするトマ・ピケティの「21世紀の資本」が世界的なベストセラーとなりました。ピケティ教授の共同研究者カリフォルニア大学のサエズ教授は、日本経済には格差是正よりも成長が一義的に必要という意見を述べておられます。

本市の財政状況は、数次にわたる財政改革に取り組んできた結果、年々改善してきております。しかし、人口減少や少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、市税収入の増収が見込まれない一方、社会保障関係経費の増大、庁舎などの耐震化・老朽化対策をはじめとする防災・減災事業の促進、さらには、今後加速度的に進むと言われている人口減少をめぐる問題への対策など、多くの財政需要があります。

こうした状況のなか、平成27年度スタートの第6次行政改革に取り組みながら、国の緊急経済対策を活用し、平成27年度当初予算と連動させた13ヶ月予算を編成いたしました。

市長一期目の総仕上げとして、すべての子どもがいきて活動でき、子育てに喜びを感じるようなことができる「子育ての八幡市」づくりに重点を置きました。京都府と力を合わせながら公約実現に向けた取組、将来の礎を築くための取組を進めてまいります。

人権を大切に、みんなが力をあわせてまちづくりを進めるまちづくり

現在の本市人口は7万3千人余りで、この4年間で約1,000人減少しております。少子高齢化・人口減少が進むとともに、地縁的なつながりが希薄化していくという厳しい状況にあります。地域コミュニティは市民自治の基礎です。市民協働の視点に立って、地域コミュニティの活動の支援につながる取組を進めていかなければなりません。

そのため、平成27年度に20周年を迎えられる自治連合会との連携を深め、市民協働活動センターの利活用やNPO等団体間の交流・連携が促進されるよう京都府と連携した取組を進めることとしております。



- 戦争体験談収録経費(新規) 20万円
- 自治連合会20周年記念事業助成(新規) 30万円
- 市民協働活動事業助成(新規) 100万円
- 男女共同参画プラン改訂経費(継続) 350万円

人がつどい、活力あふれるまちづくり

元気で、活力あふれるまちであり続けるためには、農業や商工業の振興、人のにぎわいの創出が欠かせません。駅前観光案内所・駅前トイレの整備、駅前交番の開設や農産物直売所の整備などを進めてまいりました。引き続き都市基盤整備などの活力あるまちづくりを進めてまいります。

- 農業者労災保険特別加入促進助成(新規) 400万円
- 橋本駅周辺拠点整備事業(継続) 7億2,910万円
- 二階堂川口線パイパス事業(継続) 9,100万円
- 科手土井線道路整備事業(継続) 9,380万円



豊かな自然を守り、循環型の社会づくりを進めるまちづくり

本市は、京都府内で初めて環境自治体宣言を行い、太陽光発電設備の普及など地球温暖化対策に取り組んでまいりました。この取組が評価され、平成27年1月、京都府の地球温暖化対策の優良事業者に府内自治体では唯一、選ばれました。今後も循環型社会を目指し、環境基本計画に基づいた取組を進めてまいります。

- 自然生態系調査事業(継続) 800万円
- ナラ枯れ防除対策(新規) 350万円



八幡市長 堀口文昭

2月24日に開会しました平成27年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「平成27年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介いたします。また、施政方針の全文は市ホームページ(<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>)に掲載しています。

安心して暮らせる安全で快適なまちづくり

台風、集中豪雨、地震などの自然災害が毎年、全国各地で発生しております。これまで、小中学校をはじめとする公共施設の耐震改修、防災無線の整備、雨水排水対策などに取り組んでまいりました。引き続き自然災害の脅威から市民の皆様生命と財産を守り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めることとしております。

- 防犯カメラ設置事業(継続) 630万円
- 南ヶ丘児童センター・教育集会所改修工事(新規) 2億3,200万円
- 街路灯LED化事業(新規) 4,800万円
- 三反長泉線通学路安全対策工事(新規) 2,120万円
- 美桜12号線法面補強工事(新規) 1億3,110万円
- 男山地域再生事業(だんだんテラス事業助成等)(継続) 944万円
- 防災用資機材整備(拡充) 230万円
- 八幡小学校更衣室等整備事業(新規) 2,500万円
- 中央小学校敷地内通路整備事業(新規) 1,500万円
- 男山中学校大規模改修工事(新規) 3億7,000万円
- 川口コミュニティセンター大規模改修工事(新規) 1億3,000万円

